

みんなのおた場

届いたお手紙から みんなのおたより紹介



掃除をしてくれた方へ、 ありがとうございます

ありがとうございます

私は二人の子どもたちと坂のある丘に住んでいます。子どもにはなるべく自然に触れさせたいと考え、子どもと一緒に乗れる自転車を購入しました。夏は、ペダルを漕ぐ私は汗だくですが、子供は大満足のようです。秋もいいなあと思っていたのですが、夏に生い茂った草や台風で荒れた小石が落ちていて、急坂は自転車では

下るには大変でした。それが11月に入ってからのこと、その坂で、黄色いのはりを立てておじいちゃん、おばあちゃんが、おばあちゃんが大勢で草取りやごみ掃除をしてくれていました。心からありがとうございますと言いたくて伝える場を探していました。通勤通学の方もきつとそう感じていると思います。

(チャック)

おばあさん、ありがとうございます

祖母が天国に旅立ってから、まもなく1年が過ぎようとしています。今でもふと、祖母との生活を思い出して涙する場面があります。共働きの両親に代わり、祖父と共に私たち姉妹を大切に育ててくれました。目が悪く、亡くなる数年前からは視力がほぼ無い状態で過ごしていた祖母。それでも持ち前の明るく前向きな性格で元気に生活していました。病床に伏せるまで、毎朝ウォーキングを続けて体

力作りも頑張りましたね。初めてのひ孫を、あともう少しの所で抱いてもらえず大変残念でした。そして、もうすぐ二人目のひ孫が生まれますよ。その子もおばあさんに抱いてほしかったです。無事に生まれてくるよう天国から見守っていてください。

おばあさんの孫で本当に良かったです。本当にありがとうございます。

(千葉美紀)

キラッとパチリ

復興の土台づくりをお手伝い

市の復旧復興支援で訪れている長期派遣職員の方々のなかから、今回は復興事業部で平成25年4月から被災した土地の利用に関する業務にあたっている前田哲哉さんと木崎恵理子さんを紹介します。

復興事業に係る用地取得業務に携わっている前田さんは、「自分の力が被災地の役に立てば」と派遣を志願しました。「派遣職員という性質上、長く携わることにはできませんが、石巻に根を張って活躍している皆さんのためにも、その土台をしっかりと作るの」が一つの使命と思っております」と、未来を見据えながら語っていました。



土地利用課

前田哲哉さん 40歳
静岡県富士市から派遣



区画整理第2課

木崎恵理子さん 29歳
大阪府大阪市から派遣

区画整理業務に係る事務を担当している木崎さんは、岩手県大槌町での被災地支援ボランティア活動が派遣のきっかけだったといいます。「復興の道のりは決して容易なものではありませんが、皆さんの前向きなエネルギーに励まされる日々です。微力ではありますが、まちづくりの一端を担っていきたくと思っています」と意欲をのぞかせていました。

前田さんの任期は3月31日まで、木崎さんは未定です。

第5回

健康コラム

後発医薬品(ジェネリック医薬品)のお話

石巻市立病院 薬剤科部長 片山 潤

後発医薬品(ジェネリック医薬品)は、先発医薬品の特許が切れると発売が許可されます。後発医薬品は「安くて本当に効き目はあるのか」「安全性は大丈夫なのか」との不安があるかもしれませんが、先発医薬品と同様に体内で溶ける、同速度かつ同量の有効成分が体内に吸収される等、さまざまな試験によって先発医薬品と効き目や安全性が同等なものだけが国によって承認・発売されます。

また、後発医薬品の価格は先発医薬品に比して安価に設定されます。例えば、ある血圧降下薬の年間売上額が約1000億円だとします。この薬の後発医薬品が発売され、仮に全て後発医薬品に変更されると、おおよそ3割程度安価になりますので約300億円の医療費が削減されます。つまり、自己負担や国や県、市町村における税金等の負担が少なくなります。

先発医薬品と後発医薬品で異なるのは、錠剤等の製剤を作るための賦形剤等の添加物です。これによって、まれにアレルギーが発生する場合がありますが、後発医薬品には、先発医薬品よりも飲みやすくなるように薬の大きさや味、においの改良や、湿気や光に弱い等の品質面の改善による保存性の向上等、よりよく工夫されたものもあります。上手に後発医薬品を利用しましょう。

☆次回5月1日号は「生活習慣病のお話」です。

◇投稿募集

皆さんからの投稿をお待ちしています。テーマに沿ったあなたのお話をお寄せください。
テーマ 「ありがとう」
日常生活の中で、皆さんの「ありがとう」に関する逸話(エピソード)をお聞かせください。
字数 400字以内
投稿方法 住所、氏名、年齢、電話番号を明記し郵送またはEメールで秘書広報課までにお送りください。掲載の場合はペンネームを可能としますので、ペンネーム希望の場合はその旨明記してください。
注意事項 公序良俗に反するもの等やスペースの関係上、投稿いただいたものを全て掲載できるものではありません。また、字数等の関係で内容を調整させていただくことがあります。
☎ 秘書広報課(内線4024) ☎986-8501(住所不要)Eメール ispubinfo@city.ishinomaki.lg.jp

まちの話題



石巻地区

未来へ夢ふくらむ 子どもたちの拠点

1月19日(日)
石巻市子どもセンター

市と(公社)セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの協働で立町に完成した「石巻市子どもセンター」の開所記念式が行われ、出席者はバームクーヘン入刀等で祝いました。子どもたちがアイデアを出し合って設計した館内には、多目的室やスポーツ室等があり、早速さまざまなイベントが行われました。施設は18歳までの子どもたちとその保護者等の方が利用できます。

石巻地区



2月2日(日) 渡波公民館

自分の意見を堂々と発表

青少年の健全育成と、よりよい地域づくりを目的にした第42回渡波地区意見発表会が行われました。地域の子どもたちや成人の男女14人がステージに立ち、将来の夢や命の大切さ、地域復興への思い等、日常生活の中で考えたことを堂々と発表しました。会場に集まった地域の人たちは発表者の言葉に、熱心に耳を傾けていました。